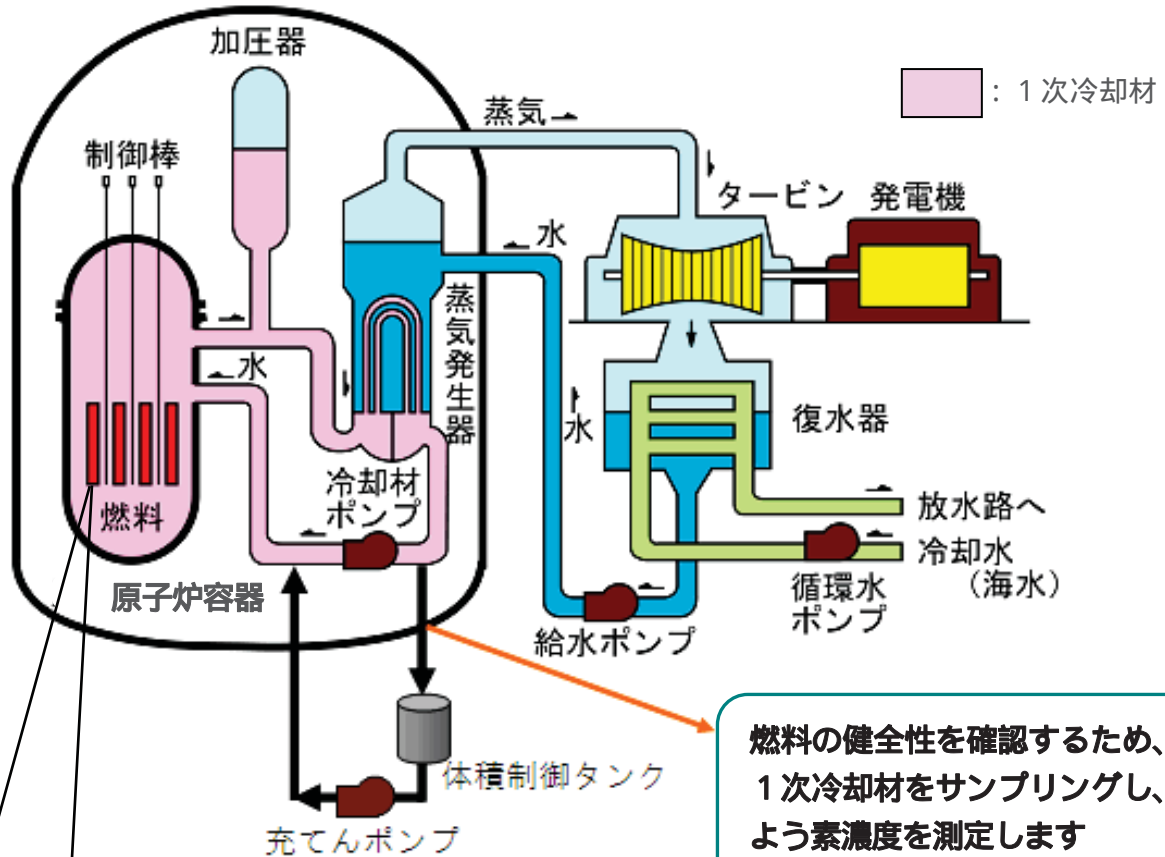
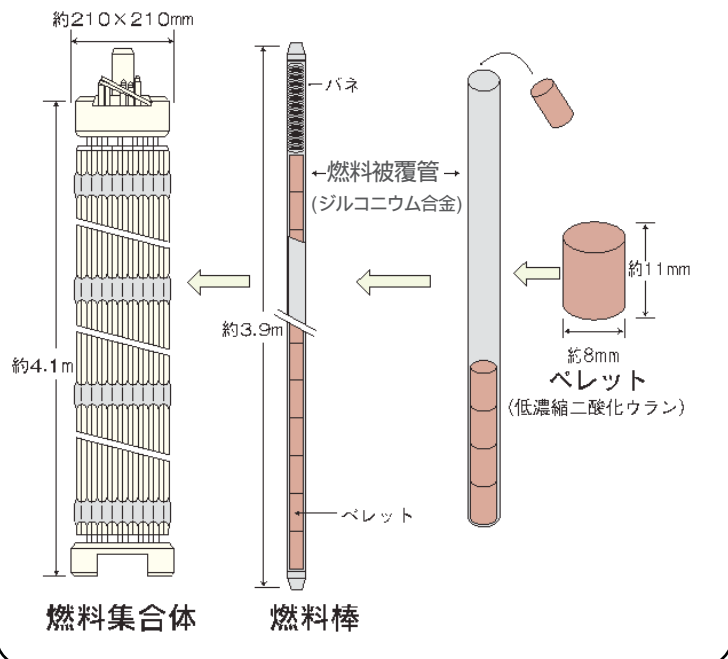


1次冷却材中のよう素濃度測定概要

原子炉格納容器



燃料の健全性を確認するため、1次冷却材をサンプリングし、よう素濃度を測定します (毎週)



原子力発電所では、運転中、定期的に原子炉内の1次冷却材(水)の放射性よう素の濃度を測定し、燃料棒(被覆管)に微小な穴などが発生して、燃料棒中の放射性物質が1次冷却材中に漏れ出していないかを確認しています。